

感謝の気持ちで一年を締めくくろう

3月3日(月)に全校集会がありました。校長先生から3月11日(火)・12日(水)に公立高校一般入試を控える3年生に、「マラソンに例えると、最後の直線です。見えるところにゴールテープがあります。最後の力を出し切って、ゴールテープに向かって行ってほしい。きっと力を発揮できると思う。」とエールを送るお話がありました。2年生に対しては、「受験に向けたスタートの号砲は鳴りました。もう走り始めていますか。高校が最終目的ではないが、早めに心して準備しておいた方がよいですよ。みなさんは、もう受験に向けたマラソンを走り始めていると思ってほしい。今難しいと思っていることがあったとしても、諦めずに頑張ってください。」とお話でした。

そして、全校の皆さんに「クラスみんな、担任の先生、学年の先生方に感謝して、一年を締めくくってほしい。」ということでした。校長先生は、「校長・教頭の名前は覚えていないけれど、担任の先生の名前は全て覚えている。一番叱ったり、励ましたりして面倒を見てくれた担任に感謝してほしい。この出会いを大切に、新たな出会いをしてほしい。」とお話されました。

3月15日(土)は卒業証書授与式です。3年生は、「卒業証書授与での担任の先生からの呼名に答える返事」、「3年間の思いを込めた校歌、卒業の歌の歌声」で今まで支えてくれた家族、先生方への感謝の気持ちを表し、全員で「最高の卒業証書授与式」を迎えましょう。1、2年生は、これまで最高学年としてのあるべき姿を学校生活でたくさん見せてくれた3年生に、感謝の思いが伝わるように、式に臨みましょう。

これまでお子様の成長を温かく見守ってこられた3年生保護者の皆様、これまで本校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。4月からは、それぞれが選択した道を力強く歩み出すこととなります。卒業生175名の新たな門出に幸多からんことをお祈りしています。



第36回卒業証書授与式【令和7年3月15日(土)】について

保護者の受付は、8:50~9:40です。卒業証書授与式には、在校生も式に参列しますので保護者席に限りがあります。保護者は生徒一人につき1名から2名の参列をお願いします。車での来校はご遠慮ください。

生徒会企画の「全集中チャレンジ」表彰

2月4日から21日に、生徒会企画の全集中チャレンジを行いました。「(授業中に)私語ゼロ!(積極的に参加するための)反応あり!(授業の始まりの)静寂聞く!」を目標に、各クラスで達成する度に毎時間一枚シールが与えられるという取組です。クラス対抗で競いながら、一人一人がより良い授業の受け方を意識しながら取り組むことができました。生徒会の皆さんから「気を抜かず、継続していきましょう!」と全校生徒へのメッセージがありました。全校生徒で、より素敵な大徳中学校・より学びの多い大徳中学校にしていきたいですね。生徒会の皆さん、全校生徒の皆さんの企画・実行ありがとうございました。

	1位	2位	3位
1年	4組	3組	1組
2年	4組	2組	1組
3年	3組	2組	4組

3月の目標

生活目標: 1年間の反省をし、次年度にそなえよう

学習目標: 1年の学習を振り返り、新たな目標を立てよう

学校評価に関するアンケートの報告

1・2学期末にお寄せいただいた学校評価アンケートの結果とその分析、今後の方針についてお知らせいたします。保護者の皆様と共通理解を図り、更により良い学校づくりのために生かしていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年度学校評価【抜粋】※項目の比較

共通項目		前期 肯定的 回答	後期 肯定的 回答	± 5%
生徒	あなたは、学校生活をとおして、進んであいさつができています	90%	91%	
保護者	お子様は、日常生活であいさつが身につけている	84%	84%	
教員	あなたは、学校生活をとおして、進んであいさつができるよう指導している	93%	87%	↓
生徒	あなたの平日の学習時間はどのくらいですか(2時間以上・1~2時間程度)	63%	68%	↑
保護者	お子様は、家庭学習をしっかりと取り組んでいる	61%	60%	
教員	あなたは、生徒の家庭学習の習慣が身につくよう工夫している	80%	90%	↑
生徒	悩みがあるときは先生に相談しようと思う	73%	74%	
保護者	学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる	88%	90%	
教員	あなたは、生徒と積極的に関わり、交友関係や悩みなどの把握に努めている	100%	100%	
生徒	ゲームやインターネットの機器の使用について、家の人との約束やきまりを守っている	85%	85%	
保護者	ご家庭では、ゲームやインターネットの機器の使用に関して、約束や決まり事がある	67%	63%	

学校運営協議会からのご意見や改善策に向けた意見等

- ・とても人懐こい生徒が多い。
- ・あいさつが少なくなっているように感じる。こちらからあいさつするとしてくれる。生徒が自分からあいさつするようになってほしい。
- ・一人一台端末を使用し、宿題しているのを遊んでいると思ってしまうことがある。
- ・SNSのきまりを確認してほしい。面と向かってコミュニケーションする場合とのギャップがあるように感じる。

分析と今後の取組

- ・生徒たちのあいさつの意識はわずかであるが高まっている。後期の教員回答が下がっているため、年間を通じた積極的な指導や、生徒による主体的な取組等を働きかけていきたい。
- ・教師による家庭学習の習慣化の指導は、10%上昇し、生徒の家庭学習時間も5%上昇した。しかしながら学習時間2時間以上・1~2時間程度の生徒の割合が7割に届いていない。予定を確認し見通しを持たせる指導やICTを活用しどんな宿題をしているか課題内容・メ切が生徒・保護者に分かるように見える化を行い、保護者と連携した指導と生徒の主体的・計画的な家庭学習の習慣化を目指したい。
- ・「あなたは、生徒と積極的に関わり、交友関係や悩みなどの把握に努めている」の項目では、教員は前期・後期ともに100%であった。一方、生徒は「悩みがあるときは先生に相談しようと思う」で70%台とあるので、教師と生徒の更なる信頼関係の構築を目指して指導し、ご家庭との連携を密にし、安心して学校生活を送ることができる環境を整えたい。
- ・保護者の「ご家庭では、ゲームやインターネットの機器の使用に関して、約束や決まり事がある」では、後期63%となっている。SNS上での発言を発端としたトラブルが多く発生していることから、ご家庭でネット使用のルールについて話し合うことの重要性を周知していきたい。

